



行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は ☎(48)7030 で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

「第三十五回阿久比町消防団消防操法大会」が六月二十四日(日)に、阿久比スポーツ村第二駐車場で開催されました。町内五分団から九組が出場し、小型ポンプ操法の技術を競い合いました。小型ポンプ操法は、指揮者一人、

第35回阿久比町消防団 消防操法大会

～練習で磨いた
機敏な動作～

防災への意識改革

186

安全
で
住
み
よ
い

まちづくり

ニュース

防災交通課
☎(48)1111
(内208)



操作員三人、吸管補助員一人の計五人一組で行います。指揮者の「操作始め」の号令で、指揮者と一番員が二重巻きホース三本を火点前まで延長します。二番員、三番員はポンプ後方に吸管を取り付け、布水槽に吸管を投入します。給水後、一番員の



「放水始め」の伝達により送水し、指揮者が標的を落下させます。標的落下までの基準タイムは、四十五秒です。

審査は、各団員が待機線に整列したところから始まり、解散までの士気、規律、迅速な行動、チームワーク、器具愛護など多くの項目が審査

されます。大会では、標的落下までの所要時間と、火点方向にホースが真っすぐ伸びたかのポイントが、重要視されます。

選手に選ばれた各団員は、この大会のために約二カ月間、連日の夜間練習を重ねてきました。順番が回ってくる前の団員たちは、緊張した面持ち。多くの来賓などが注目する中、会場に駆け付けた家族や消防団OBからの声援を受けながら、選手たちは、しっかりとした操法技術を披露していました。

大会の結果は、次のとおりです。

(敬称略)

○優勝 第一分団二号車

境田光一朗、松浦健悟(以上宮津団地)、新美優介(宮津)、小山田紀正(宮津山田)、木崎将典(宮津団地)

○準優勝 第二分団二号車

原貴志、神田隼志、古川雄平、竹内佑弥、都築興治(以上草木)

○第3位 第一分団一号車

高橋光(宮津団地)、相川翔平、鈴木貴洋(以上陽なたの丘)、田中勇(宮津団地)、石田智嗣(宮津山田)

○敢闘賞

竹内友寿(矢口)、橋村仁生(白沢台)、竹内聖人(植)、木村琢也(草木)

優勝は第一分団二号車